

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

## 記

1. 講 師 瀧本 晃陽 先生

2. 演 題 外傷歯の治療

3. 日 時 令和2年12月4日(金)15時00分 ～ 17時00分

4. 場 所 7号館【歯学部校舎棟】1階 第1講義室

5. 要 旨 歯の外傷は、小児・若年者の患者において頻度が高く、突発的に発生し受傷直後の歯科的対応が患歯の予後に大きく影響することが知られている。歯の外傷の初期対応は、かかりつけ歯科医や受傷場所から最寄りの歯科医院が行うことになるため、全ての歯科医師は初期の適切な対応について知っておく必要がある。さらに、歯の外傷の診断と治療には小児歯科、歯内療法、口腔外科、歯冠修復、矯正歯科など、幅広い知識と経験が必要となる。また、本年2020年には国際外傷歯学会(International Association of Dental Traumatology; IADT)による歯の外傷の対応ガイドラインが8年ぶりに改定された。この改定についても、旧ガイドラインとの変更点を含め概説を行う。

総合診療歯科学分野 則武 加奈子

(連絡先 渡邊 麻美 watanabe-mami.adm@tmd.ac.jp)